



びあ十六文銭プロダクション製作



Boys, Be Ambitious!

どういう意味ですか
自分で考えろ

小松隆志監督

スーパー・ストライク・ムービー

バス

BUS



第3回PFFスカラシップ作品



[解説]

今まで全くなかったタイプの、心にじーんと滲みいる映画が誕生した。その名は、スーパー・ストライク・ムービー「バス」。'86年の12月から'87年の6月まで7ヵ月間渋谷で毎週木曜の夜上映され、インディーズのカルトムービーとなってしまった「いそげブライアン」の小松隆志監督が次に挑んだ長編劇映画である。同時にこれは、才能ある若いフィルムメーカーの製作活動を活性化しようと、びあが'84年から始めたPFFスカラシップの第3回作品として、IMAGICA、コダック・ナガセ、そして長野の小布施堂文化事業部の製作協力を得て、'86年の夏より約1年がかりで完成させた超話題作でもある。撮影は'86年11月より長野県の戸隠村に長期ロケを敢行。物語の舞

台となる架空の村のイメージに最も近い、美しい大自然と特異なロケーションを持った場所としてここが選ばれ、全篇に散りばめられたその雄大でしかも幻想的な風景が「バス」に生命を吹き込んでいる。スタッフは、若いながら第一線で活躍する有能なメンバーが集まり、キャストもユニークなキャラクターが揃った。また冒険家で小説家のC.W.ニコル氏が重要な役で友情出演している。とにかく1時間20分で1500という驚異的なカット数で、一度目をそらしたら話がわからなくなる怒濤の展開で突き進む小松隆志の「バス」。そのスーパー・ストライク体験がついに味わえる/今「バス」は走り出した。



「いそげブライアン」から「バス」へ……。小松隆志の闘魂はあらゆる試練をフォールして、すべての日本人のハートに突き刺さる本物のムービーを生み出した。



●スタッフ

- 企画製作.....西村 隆
- プロデューサー.....鈴木 豊 / 塚田忠雄
- 脚本 + 監督.....小松 隆志
- 撮影 + 照明.....藤井 良久
- 録音.....本田 敦
- 美術.....本村 壮希
- 音楽.....高木 潔
- 編集.....小松 隆志
- 制作担当.....笠井 健夫
- 助監督.....竹内敬明 / 今井利行 / 菊地規悦
- 撮影助手.....倉田憲一 / 秋葉千鶴
- 照明助手.....鈴木 昭彦
- 録音助手.....岩 琢
- 編集助手.....福田千賀子
- ナガ編集.....遠山 千秋
- 記録.....松葉勢津子 / 田島 愛
- メイク.....風間 志麻
- 衣裳.....勝島 守彦
- スチール.....正岡 秀樹
- 美術助手.....坂田正彦 / 代村明彦
- 持道具.....阿部裕之 / 千葉 潔 / 馬場孝宗
- 炊事担当.....金山真夫 / 柚木理恵 / 小幡みゆき / 佐藤幸子 / 伝田重美 / 松本まゆみ / 宮沢陽子
- 制作助手.....香山裕史 / 徳山 哲 / 三井直紀 / 芳井 修
- 製作協力.....IMAGICA / コダック・ナガセ / 小布施堂文化事業部



道男 / ベンガルの虎



林蔵



耕作



保安官



かおり



隊長



丘の上のバカ

●キャスト

- 道男 / ベンガルの虎.....伊藤 裕康
- 林蔵.....安藤 恭一
- 耕作.....小松 秀彦
- かおり.....黒岩 智子
- 先生.....白田 徹
- 松戸博士.....山野井茂己
- 隊長.....大須賀兼男
- 副長.....鈴木 剛彦
- ランナー.....原山 健一
- 村の幹部①.....塚 進
- ②.....西沢 知能
- 廃車場の男.....村田 武文
- かおりの父.....石川 節
- 丘の上のバカ.....C.W.ニコル
- 保安官.....斎藤 久志

スーパー・ストライク・ムービー

バス



小松隆志

俺は映画でプロレスをするんだ!!

今、将来の日本映画を担う最も新しい才能として熱い注目を集めている映画作家がいる。その名は小松隆志、24歳。長野に生まれ育ち、中学の時、プロレスラーになろうとするが挫折、高校に入って小説家をめざすが、3年の時、「映画は総合格闘技だ。」と悟り8ミリを撮り始める。専修大学入学後も映研で作り続け、3年の時撮った「いそげブライアン」がPFF'86で入選、その年の「最も期待したいフィルムメーカー」となり「バス」を撮る。そしてこれから一体何をしでかすのか。とにかくまだゴングは鳴ったばかりである。

STORY

ここはどこか知らぬ異世界に存在する「村」。村には錠があり、村から出ることは許されない。しかしベンガルの虎の異名を持つバスの運転手、道男は絶えず脱出を試みる。ある日、道男は仲間林蔵、耕作と共に5度目の脱走を試みるが、恋人のかおりのせいで失敗。林蔵だけは逃げたが道男と耕作は保安官に捕えられロボットミニアにされてしまう。そして村はコンピューターに支配されるようになり、道男たちは平穏な生活に戻る。村は生気を失ったままの平和が続く。5年が過ぎ、脱出した林蔵が村に舞い戻ってきた。しかし記憶を失った道男には誰だかわからない。村の片隅ではゲリラ集団がコンピューター支配の崩壊を企んでいる。そんな時、廃車令が施行されバスは廃止となり、道男は職を失う。村は未来へ向け大きく変わろうとしていた。もうベンガルの虎は永久に復活しないのか、様々な人々の思いが重なり合う中で道男へのきっかけが……。そして遂にゲリラが行動を開始した。その時バスに乗って現われたのは、「ベンガルの虎だー!!」



BUS 4月18日(月)よりロードショー (4月25日(月)のみ休映)

新宿 THEATER/TOPS 靖国通りTOPS HOUSEビル4F ☎(350)9696

'87ロンドン映画祭、トリノ映画祭、'88ニュージージーランドFFS映画祭 招待作品

お問い合わせ=PFF事務局 ☎03(265)1425

ぴあ THEATER/TOPS

平日	2:30	4:10	5:50	7:30	
土・祭	1:00	2:30	4:10	5:50	7:30
日曜	1:00	2:30	4:10	★	7:30

	当日	前売
一般	¥1,200	¥1,000
学生	¥1,100	¥900

★毎週日曜日の6:50-7:10は監督とゲストを招いてのイベントを行ないます。

*前売券はチケットぴあにて発売中